

以下、本文-----

小児気管支喘息患者治癒に関わる因子の研究

1. 研究の対象

2010年6月から2023年8月まで高知大学医学部附属病院小児科アレルギー外来を受診した喘息患者で喘息治癒に至るまで観察できた患者さんと、本研究が倫理委員会で承認後、2024年3月31日までに受診し、15歳以上で喘息に対する毎日のお薬が続いている患者さんです。

2. 研究目的・方法

小児気管支喘息が、治癒するのか、しないのか本当のことは分かっておりません。小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2020では、「寛解：無投薬で症状がない状態。臨床的治癒：5年以上無治療・無症状が続いた状態。機能的治癒：臨床的治癒で、呼吸機能と気道過敏性も正常な場合。」とされています。現在、当院小児科でもこの治癒に至った症例を数多く確認しております。一方、治癒に至ることを確認するには、今だ、投薬が続いており、年齢的に、当科ではなくなる患者さんにも遭遇いたします。私たちは、この2群を比較し、なにか違いはないものか考察したいと考えております。

方法は、上記の患者さんに対し、下記3.のような情報を診療録より収集し、治癒した患者さんと小児科受診中に治癒確認ができそうにない患者さんに違いがないかどうか考察致します。

研究期間：高知大学医学部倫理委員会承認後～2026年3月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より性別、発症年齢、寛解年齢、治癒年齢、喘息急性増悪による入院の有無・回数、吸入ステロイドの使用歴と量（低用量、中用量、高用量）、生物学的製剤の使用歴、同胞の数、本人の喫煙状況、本人のスギ・ダニ舌下免疫療法の有無、吸入アレルゲン特異的IgE値、総IgE値、血中好酸球数、呼吸機能検査、呼気中一酸化窒素濃度、重症度、長期管理薬の情報、気道の過敏性を表す症状についてを収集致します。

また、受動喫煙歴、毛の生えたペット飼育歴、服薬遵守状況、患児の出生時の人工呼吸歴、アレルギー疾患既往歴（アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎）、両親いずれか、または両方の気管支喘息の既往（発症および寛解の有無）の情報も収集致します。

そして、治癒した患者さんと、そうでない患者さんとの間に違いがないかどうか考察致します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮

088-880-2355

高知大学医学部小児思春期医学教室 大石 拓

研究責任者：

高知大学医学部小児思春期医学教室 大石 拓

-----以上